

研究テーマについて

（１）背景と目的

【課題】 福井県では若者の**県外流出**が深刻→（要因）地元企業の認知度が低く「地元で働く」選択肢が欠如している

【目的】 意識醸成：「**地元就職**」を身近な**選択肢**へ。

定着促進：早期交流による将来的な地元定着の実現。

（２）提携先や対象地域等の概要

対象地域： 福井県坂井市・あわら市

提携先： 坂井市まちづくりセンター

ターゲット： 坂井市・あわら市に在学・通学する小中高生、および市内の中小企業

調査活動の経過と概要

（１）調査手法

- ・ヒアリング調査（行政・教育機関）
- ・就職意識アンケート調査（対象：中学生～20代社会人）

（２）活動

スケジュール

右図参照

活動：行政へのヒアリング

坂井市（企業主体）： 大卒支援、企業の魅力発信（動画制作等）を補助。

あわら市（行政が橋渡し）： ガイド本配布、小学生向け工場見学を継続。

【共通課題】

情報発信不足： 施策の認知度が低い。

ミスマッチ： 行政の施策と企業の採用ニーズが合致していない。

活動：教育現場（坂井高校）へのヒアリング

既にキャリア教育・産官学連携が充実→高校生向けの新たな職業体験イベントの**需要は低い**と感じた。

就職者の多くは、坂井市を中心とした**自宅から通える範囲での就職**を希望しており、一部に福井市も含まれる。

日時	2025年10月11日	2025年10月15日	2025年10月29日	2025年12月19日	2025年12月～2026年1月
対象	ヒアリング① あわら市役所「あわらる」	ヒアリング② 坂井市産業政策部 商工労政課	ヒアリング③ あわら市経済産業部 商工労働課	ヒアリング④ 福井県立坂井高校 進路支援部	中学生～ 20代社会人
内容	観光情報発信SNS アカウント運営	産業構造と人手不足に対する支援策	産業構造と地元定着に関する施策	進路状況 キャリア教育の実態	就職意識調査 アンケート

活動：就職意識調査アンケート

ニーズ：「多様な業界の研究」や「**体験型**」の機会を要望。

希望時期： 中学生・高校生が中心。

不足情報： 就職に至る具体的な経路（キャリアパス）の紹介。

考察と提案

（１）成果のまとめと評価

現状： 高校生向けは既存教育と重複し困難。**中学生以下**への体験提供に余地あり。

課題： 既存支援は「認知不足」かつ「一方的な発信」が主流。

評価： **体験型イベント**で、双方向の接点を創出する「イベントのパッケージ化」が有効である。

（２）今後の予定（2026年度）

実践： 少人数制の「オープンカンパニー型」や「企業ブース型」の**職業体験イベント**を開催。

完遂： 分析に基づき効果を検証し、持続可能なモデルとして**パッケージ化を完了**。